

建設の機械化

1995.9

No.547



◆巻頭言 建設産業の機械化について……………田 嶋 順 三 1

◆岩盤削孔基礎杭工法特集

岩盤と基礎杭……………安 達 徑 治 3

ケーシング回転掘削工法……………尾 身 博 明・山 口 誠 也 11

岩盤用アースオーガ削孔工法……………葎 田 誠 作 17

パーカッション掘削工法……………荻 須 一 致 28

リバースサーキュレーションドリルによる大口径岩盤削孔
……………星 野 清 治・元 山 勝・
栄 捷 利・鳥 井 浩一郎 35

グラビヤ—岩盤削孔基礎杭工法削工法

◆平成6年度官公庁・建設業界で採用した新機種

建設業界（その2）……………植 松 勝 之 47

◆ずいそう 歴史の中の風景……………水 上 雅 陽 64

◆ずいそう あれから三十年……………久 良 木 宏 66

◆支部便り

支部通常総会開催および建設機械優良運転員・整備員の表彰…………… 68

◆わが工場 タイクウ 焼津工場……………北 村 紀一郎 82

JCMA

目次



◆海外情報	86
◆新工法紹介 05-36 NUP グランベルドレーン工法/11-39 大型 土工機械の遠隔操作技術/11-40 土工における無人化施工法/ 11-41 土工における無人化施工法	調査部会 87
◆新機種紹介	調査部会 91
◆文献調査 浸透性コーティングによるつり橋のケーブルの保護/ 天然ガス式の路面清掃車/収集方法の改良/盗み対策の国際化	文献調査委員会 99
◆整備技術 さく岩機の知識と整備(その4) さく岩機	整備部会 102
◆統計 建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会 111
行事一覧	112
編集後記	(芹澤・久保・志田) 116

◇表紙写真説明◇

岩盤掘削施工用回転式ケーシングドライバ CD 1500

日立建機株式会社

CD 1500 をはじめとする CD シリーズは、ケーシングを全周回転させることにより、岩盤や地中障害物を強力に掘削する画期的なオールケーシング工法対応機である。

また業界で最初に開発された定置式の回転式ケーシングドライバで、そのコンパクト性と安全性、それに強力な掘削性能と優れた施工性から、都市再開発等でみられる狭い場所での工事、SEP 上での海上工事、山岳地での道路橋工事や抑止杭工事等非常に幅広く使用されている。その施工実績としては 1994 年度 1 年間で施工件数約 300 件、延べ施工杭長約 155 km に達し、我が国の同種工法の中で最も施工実績の多い工法

となっている。

最近では鋼管ダイレクト工法への展開や CD 機を分解可能として山岳地に運び、深礎工法に代わって鉄塔工事を行うなど高度な基礎工事にも適用され、今後応用面への拡大がますます期待されている。

＜本機の主な仕様＞

本体主要寸法L 3,700 mm×W 3,100 mm ×H 3,600 mm
適用ケーシング径φ 1.0~φ 1.5 m
ケーシング回転力166 tf・m
ケーシング回転数0~1.2 rpm
ケーシング引抜き力166 tf
パワーユニット150 SP/2,000 rpm
重量: 本体26.5 tf
パワーユニット9.0 tf
回転反力取り装置17.4 tf